

「共汗で進める 新たな区政創生～京都市における区政の在り方について～」(案) に関する市民意見募集の結果について

本市では、これまでから節目節目で、区政の在り方を検討し、たゆむことなく様々な改革に取り組んできました。

人口減少や少子高齢化の進行、ICT（情報通信技術）の発達など、新たな環境の変化が生じていることに加えて、平成26年5月には、区の役割拡充、住民自治の強化を趣旨とする地方自治法の改正が行われ、区役所が分掌する事務については条例で定めることとされ、条例化に当たっては、どのような区の在り方がふさわしいか十分に検討することが必要とされました。

これらのことから、平成27年7月15日、「区行政総合推進会議」（議長：藤田副市長）の下に、「区政の在り方庁内検討委員会」（委員長：伏見区長）を立ち上げ、全庁挙げて議論を行うとともに、市民意見募集リーフレット等を活用し、「共汗で進める 新たな区政創生～京都市における区政の在り方について～」(案)（以下「新たな区政創生（案）」という。）を取りまとめました。

この度、新たな区政創生（案）に関する市民意見募集の結果を取りまとめましたので、御報告いたします。

1 市民意見募集の概要

(1) 募集期間

平成27年12月24日（木）～平成28年2月1日（月）

(2) 御意見数

意見者数：168人、意見総数：254件

(3) 御意見をいただいた方の属性

ア 居住地

京都市内	京都市外	記載なし	合計
115人	30人	23人	168人

イ 年齢

20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代
62人	20人	22人	28人
60歳代	70歳以上	記載なし	合計
10人	13人	13人	168人

ウ 性別

男性	女性	記載なし	合計
95人	61人	12人	168人

2 御意見の内容（詳細は資料1のとおり）

新たな区政創生（案）に反映するもの（A）は48件，新たな区政創生（案）に記載済み又は趣旨に含まれ，賛同いただいているもの（B）は153件，今後取組の推進に際して参考とするもの（C）は53件ありました。

（単位：件）

関連する項目	A	B	C	合計
策定に向けて	0	3	0	3
目標とする4つの区役所像	6	22	0	28
区役所像1「区民が主役のまちづくりの総合的な推進・調整役としての区役所」に係る主な取組	11	30	4	45
区役所像2「市政をリードする区役所」に係る主な取組	0	26	4	30
区役所像3「おもてなしの心あふれる区役所」に係る主な取組	3	30	4	37
区役所像4「ICT（情報通信技術）等を活用したスマートな区役所」に係る主な取組	26	15	2	43
その他，新たな区政創生（案）全般	2	27	39	68
合計	48	153	53	254

(1) 新たな区政創生（案）に反映するもの（48件）

- ・ ICTの活用にあたっては，適切な個人情報の保護に留意してほしい。
- ・ 大学が多い京都の特徴を生かして，大学生と連携した企画に，より一層取り組んでほしい。
- ・ 区民目線からの意見をいかに拾うかが重要であり，区民の目線に立って知恵を出し，より区民から親しまれる区役所になってほしい。
- ・ 区役所の役割や取組を知らない人が多く，共有されなければ利用されないとも思うので，区の活動のPRや広報に力を入れてほしい。
- ・ 各種証明書のコンビニ交付について，早急に取り組んでほしい。 等

(2) 新たな区政創生（案）に記載済み又は趣旨に含まれ、賛同いただいているもの（153件）

- ・ 地域では担う仕事量が増え、後継者不足に悩む団体が多い。様々なまちづくりを推進・調整する役割が必要と感じていたので、区役所がそういった役割を担うことには賛成であり、積極的に関わってほしい。
- ・ 「まちづくりと福祉・保健施策の更なる融合」の視点は大切であり、地域力推進室と福祉・保健部署との連携や協働の仕組みづくりが重要である。
- ・ 「京都市オリジナル婚姻届・出生届」について、学生とのコラボで、色、柄ともに、とてもかわいらしくて良いと思う。大々的に宣伝してほしい。
- ・ 待ち時間の短縮や申請事務等をできるだけ区役所へ出向かないで手続きできるようにしてほしい。
- ・ 地域力推進室などに業務の効率化による職員をしっかりと充てるべきであると思う。 等

(3) 今後取組の推進に際して参考とするもの（53件）

- ・ 区役所が市政をリードするためには、例えば、区民からの道路修繕や土木工事等の要望など、調整機能にとどまらない権限と予算が必要ではないか。
- ・ 区役所に行ったことがない。区役所のことを知らない。区役所にイメージがない。
- ・ 区域の再編について、見直しを常に検討すべきではないか。
- ・ 今までできていた税の相談ができなくなって不便になってしまった。税部門の再配置をしてほしい。 等

3 新たな区政創生（案）に反映する内容（資料2参照）

御意見	修正ページ	修正内容
<p>「まちづくり」という語の定義に関する説明が欲しい。（1件）</p>	4	<p>「③区役所・支所に求められる役割がより多様化，高度化」の脚注に，</p> <p>「<u>(*) まちづくり</u> <u>市民一人一人が力を合わせて，社会や地域の課題を解決し，暮らしやすいまちを実現していくための活動をいいます。</u>」を追記</p>
<p>ICTの活用にあたっては，適切な個人情報の保護に留意してほしい。（5件）</p>	8	<p><u>区役所像4</u> ICT（情報通信技術）等を活用したスマートな区役所について，</p> <p>「ICTの活用等による市民サービス向上策に間断なく取り組むとともに，」を， 「<u>個人情報の適正な管理の下に</u> ICTの活用等による市民サービス向上策に間断なく取り組むとともに，」に修正</p>
<p>大学が多い京都の特徴を生かして，大学生と連携した企画に，より一層取り組んでほしい。（10件）</p> <p>地域に根差した活動や社会貢献を意識した会社なども増えており，区の発展のために民間事業者との連携を進めてほしい。（1件）</p>	11	<p>「③NPOと地域自治組織，区役所・支所との連携の促進」について，「③NPOや大学，<u>民間事業者等</u>と地域自治組織，区役所・支所との連携の促進」に修正のうえ，</p> <p>「<u>また，近年，複数の区において，区内の大学と地域のまちづくりや安心安全等に関する協定を結ぶなど，大学や民間事業者等が有する人的，知的及び物的資源を活用して，相互に連携・協力を行う取組を進めており，今後更に，連携の強化に取り組めます。</u>」を追記</p>

御意見	修正 ページ	修正内容
<p>大学が多い京都の特徴を生かして、大学生と連携した企画に、より一層取り組んでほしい。(10件)</p>	<p>11</p>	<p>新たに、以下の取組を追加する。 <u>「④学生をはじめとした若者の区政への参画の促進」</u> <u>「本市は、人口の1割に相当する14万5千人の学生が学ぶ「大学のまち・学生のまち」であり、これまでから、例えば「区民提案・共汗型まちづくり支援事業」において、「区民提案型支援事業」に学生等への支援枠を設けるとともに、「共汗型事業」では学生をはじめとした若者と連携した事業を展開しています。</u> <u>今後更に、柔軟で活力に満ちた若い力を地域の課題解決や活性化に活かすとともに、地域社会との関わりの中で得られる学びの機会を創出するよう、学生等の区政への参画促進に取り組みます。」</u>を追記</p> <p>*④の主な取組を新設したことに伴い、以降の主な取組の項目番号を修正</p>
<p>各種証明書のコンビニ交付について、早急に取り組んでほしい。(6件)</p>	<p>23</p>	<p>「<u>②⑥マイナンバー制度の導入等を契機とした窓口サービス向上と業務の効率化</u>」のうち、 「ワンストップ窓口をはじめとした窓口業務の改革や各種証明書のコンビニ交付の検討など、」を、 <u>「各種証明書のコンビニ交付の早期実施やワンストップ窓口をはじめとした窓口業務の改革の検討など、」</u>に修正</p>

御意見	修正 ページ	修正内容
<p>ICTの活用にあたっては、高齢者や外国人、留学生などの全ての方に分かるように、優しいものであってほしい。(5件)</p>	24	<p>「㊸ ICTを活用した区民等との双方向でのコミュニケーションの充実」の末尾に、</p> <p><u>「ICTの活用にあたっては、ICTに不慣れな方に配慮した複数の情報発信手段の確保や多言語による情報発信に努めるなど、高齢者や外国人など全ての方に優しいものとなるよう留意します。」</u>を追記</p>
<p>区役所の役割や取組を知らない人が多く、共有されなければ利用されないとも思うので、区の活動のPRや広報に力を入れてほしい。(11件)</p> <p>区の情報発信には、スマホやアプリを活用してほしい。(4件)</p>	24	<p>「㊸各区の基本データや独自改善事例等の一覧をHPに記載するなど積極的な情報発信」の末尾に、</p> <p><u>「また、例えば、地域情報等の受発信や市民サービス向上に資する区民等向けのアプリケーションの開発・運用により、ICTを活用した情報発信の充実に取り組みます。」</u>を追記</p>
<p>区民目線からの意見をいかに拾うかが重要であり、区民の目線に立って知恵を出し、より区民から親しまれる区役所になってほしい。(3件)</p> <p>行政側の上からの目線をなくして欲しい。(2件)</p>	5	<p>市民意見募集リーフレット「区役所・区政をもっと良くするために」のうち、</p> <p>「市民の意見を汲み上げて共有するため、」を、</p> <p>「市民の意見を<u>お聴きし</u>共有するため、」に修正</p>
	20	<p>「㊸区民に喜ばれるサービスの創造」のうち、</p> <p>「区民から頂いた御意見・御提案や他都市での先進的な取組事例を参考としながら、」の後に、</p> <p><u>「区民の目線に立ち、」</u>を追記</p>
	36	<p>「<u>参考資料4</u>策定にあたっての体制及び経過」(2)イのうち、</p> <p>「徹底して市民意見を汲み上げて共有するため、」を、</p> <p>「徹底して市民の<u>意見をお聴きし</u>共有するため、」に修正</p>

4 今後のスケジュール

平成28年2月 「京都市区役所事務分掌条例」(案)を2月市会に付議予定
3月中 「共汗で進める 新たな区政創生～京都市における区政の在り方について～」策定